

弟子屈町スポーツ表彰



式を終えて

スポーツの功績をたたえて

平成22年度 弟子屈町スポーツ表彰授賞式が3月23日、町公民館で行われました。今年度は、町スポーツ賞1団体1人、スポーツ功労賞2人、スポーツ奨励賞に1団体1人が選ばれ、表彰状が贈られました。式では、受賞者を代表し弟子屈バレーボール少年団の小野寺宏太キヤプテンが「今日は、このような素晴らしい賞をいただき、とてもうれしく思います。このように表彰していただけるのは、熱心に指導してくれた先生方や支えてくれた家族、そして僕たちをいつも応援してくれた町民の皆さんのおかげです。僕たちは大好きなスポーツを通じて、最後まで諦めない心、仲間と協力し助け合う心、仲間を大切にすることを学びました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、スポーツからたくさん学ぶことを学び、大きく成長したいと思えます。そして僕たちの頑張る姿で少しでも弟子屈町の力になるように、いろんな場面で活躍したいと思えます。今日は本当にありがとうございます。」



えいたに 永谷 空音 ちゃん、すどう 須藤 光涼 ちゃん、ささき 佐々木 脩史 ちゃん、つばい 坪井 紗愛 ちゃん、みやざき 宮崎 もえな ちゃん、つじや 辻谷 杏 ちゃん

2年1度、乳がん・子宮がん検診を！



今月の保健師 岡田 彩子 さん

日本人の死因第1位を知っていますか？…悪性新生物、そう！がんです！
弟子屈町でも、平成20年度の死因第1位はがん。全体の28.9% (28人)。1年に亡くなる方の3人に1人は、がんが原因ということ。乳がん・子宮がんは、28人の中に各2人ずついて、決して少なくない人数です。
特に乳がんは、部位別にみた死亡率(年齢調整)で、増加傾向にあります。乳がんは、早めに発見すれば90%以上が治る病気です。
また乳がんは、たった一つのがん細胞が1センチになるのに15年以上もかかりますが、1センチのがんが2センチになるのは2年もかからないのです。1センチ以下のがんは診断が難しいです。早期の乳がんとは2センチ以下を指します。乳がんを早期に発見するためには、2年に1度検診を受ける必要があるということです。

一方、子宮頸(けい)がんは、20〜30代の女性で一番多いがんとして知られます。子宮がんは、ウイルス(ヒトパピローマウイルス)感染が主な原因で、乳がん同様、初期に発見することで80%以上が治る病気なのです。しかし、初期ではほとんど無症状です。ヒトパピローマウイルス(HPV)は、何と女性の80%は一生に1度は感染するという、決して人事ではないものです。
全てのHPVががんになるかというところではなく、ほとんどは体内から自然に排出されます。しかし、排出できなかったHPV感染が長期間続くとがん化するといわれており、排出されても、何度でも感染します。最近、テレビCMなどでも目にするようになり、子宮頸がんの原因のHPVに対し、感染予防の効果のあるワクチンがあります。しかし残念ながら、ワクチンはHPVの60%には効果がありませんが、全ての型の感染を防ぐものではありません。やはり、定期的な検診は必要ということですね。
そこで、乳がん・子宮がん検診を町内で受けられる機会をつくりました！この機会に、気軽に乳がん・子宮がん検診を受けてはみませんか？

乳がん・子宮がん検診を町内で！

- ▼日時
- 5月12日(木) 6時〜10時
- 5月13日(金) 13時〜15時
- 5月13日(金) 9時〜11時
- 12月8日(木) 9時〜11時
- 12月8日(木) 13時〜15時
- 12月9日(金) 9時〜11時
- ▼場所/福祉センター
- ▼助成対象
- 奇数月生まれの方で、乳がんは40歳以上の方、子宮がんは20歳以上の方。
- クーポンをお持ちの方(子宮がん：20・25・30・35・40歳の方/乳がん：40・45・50・55・60歳の方)
- ※クーポンは4月末に発送予定です。詳しくは、本紙(広報)でしかが4月号に折り込まれているピンク色のチラシをご覧ください。

ほかに、鉦路がん検診センターで個別受診をしたり、バスでみんなが乗り合わせて鉦路がん検診センターで受診すること(9月15日(木)、10月20日(木))もできます。
自分に合った方法で、早期に乳がん・子宮がんを発見しましょう！
▼問い合わせ先/役場保健福祉課 健康推進係 ☎482・2935(課直通)まで。

体力向上事業 ニュースポーツでハッスル



スポーツ吹き矢を楽しむ参加者

町教育委員会と町文化・スポーツ少年団本部主催のニュースポーツ交流会が3月13日、摩周観光文化センターで開催されました。交流会には、町内の子どもたちと指導者など109人が参加し、元氣いっぱいニュースポーツを楽しみました。
交流会では、スポーツ吹き矢・タグラグビー・室内バレーボールのルールを体育指導員から学んだほか、最後に参加者全員でドッジボールの対戦を行いました。参加者は、各スポーツ少年団や各地区の子どもたちと交流を図りながら、スポーツで楽しい1日を過ごしました。

お知らせ

- ▼指導者派遣事業
- ▼種目/健康体操、体力測定、ニュースポーツ、ラジオ体操など。
- ▼派遣者/職員、体育指導員ほか
- ▼派遣費用/無料(一部経費を自己負担いただく種目もあります)
- ▼スポーツ用品の貸し出し事業
- ▼対象/学校、サークル、自治会、老人クラブ、企業など。
- ▼貸し出し用品/AED(1台)、パークゴルフ用具(30セット)、フロアカーリング(1セット)、ミニテニスセット(20組)、室内バレーボール(4セット)、キンボール(1セット)、運動会用具(スタートピストル、リレーバトン)
- ▼申し込み方法/両事業とも、開催日の2週間前までに町教育委員会社会教育課体育振興係 ☎482・2948(課直通)にご連絡ください。

みんなの活躍を紹介

- ▼全道大会結果(敬称略)
- ◎第33回JOCジュニアオリンピックカップ水泳競技大会北海道予選会(2月20日・札幌市)
- ▼濱岡日菜(川湯小6年) / 100m自由形 第22位、200m自由形 第20位、200m自由形 第20位、50m背泳ぎ 第35位、100m背泳ぎ 第35位、50m平泳ぎ 第6位、50m自由形 第12位、芝田洸太郎(同2年) / 50m背泳ぎ 第35位、100m背泳ぎ 第6位、50m自由形 第12位、芝田洸太郎(同2年) / 50m背泳ぎ 第37位、菅野佑(同2年) / 50m背泳ぎ 第45位
- ◎平成22年度北海道選抜中学生ソフトテニス研修大会団体戦(3月13日・新十津川町)▼弟子屈中学校女子テニス部/団体戦 準優勝
- ▼全道大会出場者(敬称略)
- ◎第20回北海道中学生バレーボール優秀選手選抜大会音別市▼弟子屈中学校バレーボール部/小野寺祥吾(2年)、永谷賢彰(同) 船坂舞(同)

※この紙面に記載している学年は、全て大会当時のものです。